

水稻の生育状況と今後の管理対策（臨時号）

台風・フェーンと高温に備えた水管理を徹底してください

令和2年8月4日
新潟県農林水産部

〔台風情報（8月4日現在）〕

- ◎ 気象庁が12時45分に発表した台風情報（5日予報）によると、台風第4号は、8月7日の未明に新潟県に最も接近する予報となっています。
- ・ 水稻の早生品種では登熟中期になっており、コシヒカリは今週、ほぼ全県で出穂期を迎えます。新之助も早い地域では8月7日頃から出穂期を迎える状況です。
- ★ 出穂期前後は最も水を必要とする時期です。用水の供給状況を確認し、出穂時に土壌水分が維持されるよう水管理を徹底してください。
- ★ 引き続き、県からのフェーン緊急情報や台風情報等に注意して、今後のフェーン発生に備え、すみやかに湛水できるよう準備を進めてください。

〔高温に関する早期天候情報（8月3日発表）〕

- ◎ 新潟気象台は8月3日に「高温に関する早期天候情報」を発表し、8月10日頃からかなりの高温（平年差+2.3℃以上）が見込まれるため、農作物の管理や熱中症に注意するよう呼びかけています。
- ◎ 北陸地方の向こう1週間は、平年並の気温の日が多い見込みですが、8月10日頃からは暖かい空気が流れ込みやすく、気温の高い日が多くなり、かなり高くなる可能性があります。
- ★ 来週以降も高温が見込まれます。高温による玄米品質の低下を防ぐため、飽水管理の徹底に努めましょう。

〔水管理のポイント〕

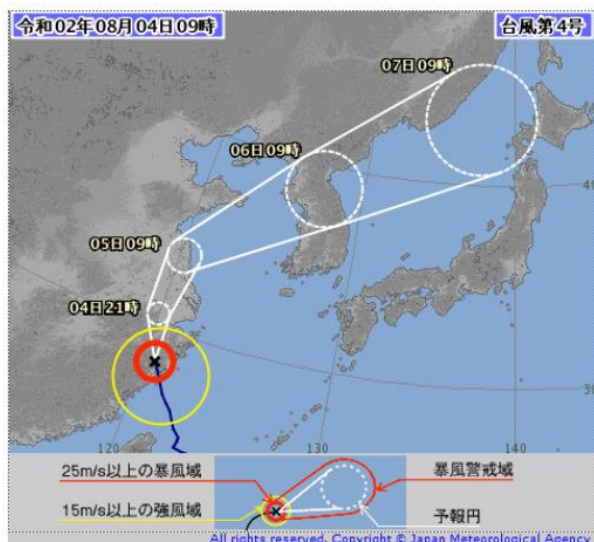
- ★ 出穂期25日後までは飽水管理を徹底し、根の活力を維持して、土壌からの窒素供給を図り、登熟後期までの栄養を確保してください。その後も、用水が確保されている地域では、出穂期30日後まで飽水管理を継続しましょう。
- ★ また、地域の通水計画を確認して、最終かん水では十分湛水し、可能な限り遅くまで土壌水分を保持してください。
- ★ 県からのフェーン緊急情報や週間天気予報、台風情報等に注意し、強風やフェーン現象等による高温・乾燥が予想される場合には、品質と収量の低下（白穂、白未熟粒、胴割れ）を軽減するため、早めの湛水に努めてください。

<参考>

高温が玄米品質に及ぼす影響

- ◎ 高温に遭遇した時期や期間により、胴割粒や白未熟粒（背白粒、基部未熟粒、乳心白粒）が複合的に発生し、玄米品質が大きく低下します。
- ・ 胴割粒は、出穂期 1～10 日後の連続した高温により多発
 - ・ 背白粒や基部未熟粒は、出穂期 5～24 日後の連続した高温により多発
 - ・ 乳心白粒は、登熟初～中期に昨年のような異常高温や極度の乾燥風に遭遇すると多発、最も感受性が高い出穂期 10～13 日後は特に注意が必要
 - ・ 白未熟粒は、籾数過多の場合さらに発生が助長
- ★ 引き続き、飽水管理を徹底するとともに、フェーン現象等による異常高温時には、地域の用水の供給状況に応じ、適切に水管理を行いましょう。

台風第4号の進路予想（8月4日、12時45分現在）



<07日09時の予報>

強さ	-
存在地域	日本海
予報円の中心	北緯 43度30分(43.5度) 東経 137度30分(137.5度)
進行方向、速さ	東北東 40km/h(22kt)
中心気圧	996hPa
最大風速	20m/s(40kt)
最大瞬間風速	30m/s(60kt)
予報円の半径	330km(180NM)

2週間気温予報（新潟県）（8月4日現在）

